

「まことの光が輝いているからです」

ヨハネの手紙一 第2章8節

この聖句の直前で、こう言います。「愛する者たち、わたしがあなたがたに書いているのは、**新しい掟**ではなく、あなたがたが初めから受けていた**古い掟**です」(2・7)。「掟」とは、神様が人間に与えた、神様を愛し人を愛するようという「愛の掟」です。それは人間が世界に創られたその最初、古くから与えられている「**古い掟**」です。しかし私たちはその掟を守れない。神様に対しても周りの人に対しても、正しく愛に生きて行くことが出来ず、自分のやりたいことばかりを優先させてしまう私たちです。その私たちに聖書は「**新しい掟として**」(2・8)、もう一度「愛の掟」をあなたに語り直す、と言うのです。あなたは愛に生きる道を踏み外し、正しく歩めないでいる。その道をしっかりと歩めるようにしよう。そしてその秘訣として、あなたの愛の道を照らし出す、光としてのイエス様を教えよう、と言うのです。あなたを愛し、真実に導くイエス様こそ、あなたの進む愛の道を照らす光です。このイエス様の導きを信じたい。なぜなら、あなたを愛し、あなたの生きる愛の道を照らすイエス様においてこそ「**まことの光が輝いているからです**」。愛を知らない暗闇の人生の道を打ち砕く、イエス様の光の導きにお従いし、神様と人を愛する道を、しっかりと歩みたいと願います。

遠州教会 牧師 石井佑二